







戦死証明書

23-11

一、戦死者本籍地

[Redacted]

戸主名 職柄 戸主

雅子

氏名

年 月 日生

二、所属 團部隊名 第十師團 林事科 第三上 新隊 第三隊

三、戦死者戦没年 昭和 年 月 日 役 現 兵 歩兵 死亡前官等 陸軍上等 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 時 分 場所

五、戦死現認ノ程度 死体確認

六、遺骨諸君ノ有無 不明

七、戦死當時ノ状況ノ概要 延焼中ニ於テ

八、死亡区分 戦死 事由 疾病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地ニ於テ死亡者ニ限リ申立ス。戦時中ニ於テ不明者ハ戦後ニ於テ不明者トシテ申立ス。申立書ニテ上陸年月日及上陸地)

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戦死者トノ職柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所属部隊名

第十師團 林事科 第三上 新隊 第三隊 兵 歩兵 陸軍上等

氏名

市町村長印箇所

市長 相違無之候也

# 戦(病)死 証明書



市町村長の説明	氏名	住所	職業	現住所	現職業	戦時中の状況	戦死(病死)の経緯	戦死(病死)の日	戦死(病死)の場所	戦死(病死)の原因	戦死(病死)の診断書	戦死(病死)の証明書	戦死(病死)の遺言	戦死(病死)の遺品	戦死(病死)の遺族	戦死(病死)の遺族の住所	戦死(病死)の遺族の職業	戦死(病死)の遺族の年齢	戦死(病死)の遺族の性別	戦死(病死)の遺族の婚姻状況	戦死(病死)の遺族の収入	戦死(病死)の遺族の資産	戦死(病死)の遺族の負債	戦死(病死)の遺族のその他
	氏名	住所	職業	現住所	現職業	戦時中の状況	戦死(病死)の経緯	戦死(病死)の日	戦死(病死)の場所	戦死(病死)の原因	戦死(病死)の診断書	戦死(病死)の証明書	戦死(病死)の遺言	戦死(病死)の遺品	戦死(病死)の遺族	戦死(病死)の遺族の住所	戦死(病死)の遺族の職業	戦死(病死)の遺族の年齢	戦死(病死)の遺族の性別	戦死(病死)の遺族の婚姻状況	戦死(病死)の遺族の収入	戦死(病死)の遺族の資産	戦死(病死)の遺族の負債	戦死(病死)の遺族のその他

176-10

戦死證明書

一、戦死者本籍地

戸主名 綱 戸主

氏名 年 月 日生

二、所属 國 省 縣 隊 名 比島 派遣 振武 緋子 團 兵 團 隊 才 中 隊

三、戦死者徵集年 大 年 役 兵 種 兵 死 亡 前 官 等 級 陸 軍 年 月 日 昭和九年五月一日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和九年三月二十日 右 三 時 以 上 自 四 時 以 下 三 才 中 隊 村 山 岳

五、戦死現認ノ程度推定 (際 孫 殿 達 中 言 孫 氏 体 不 確 認)

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戦死當時ノ狀況ノ概要

三才中隊 孫 殿 達 中 言 孫 氏 体 不 確 認 昭和九年三月二十日 孫 氏 体 不 確 認

八、死亡區分 戦死 事由 全身 炸 彈 創 發 病 年 月 日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (土 國 領 土 外 死 亡 者 等 及 於 甲 立 方 部 隊 移 住 時 等) 自 立 國 外 上 記 年 月 日 及 上 記 地

十、遺族ノ現在所

戦死者ノ 綱 名

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 月 日

證明者住所

戦死者ノ關係 同 部 隊 高 級 軍 官 所 屬 部 隊 名 比 島 派 遣 振 武 緋 子 團 兵 團 隊 才 中 隊 兵 種 陸 軍 年 月 日 中 隊

氏名

市町村長證明箇所

印

94-10

542



戰死證明書

水戸

186-10

死者本籍地

戸主名貫柄 戸主 [redacted] 身

氏名

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、所属 國府縣市町村 比島 延通 振武軍團 [redacted] 隊 芥子中隊

二、戰死 年 昭和六年 役種 兵種 歩兵 死亡前官等 階級 陸軍三等兵 昭和 年 月 日

三、戰死年月日時及場所 昭和六年三月二十日、比島三之島東方約三ヶ所、岳地第

四、戰死現狀ノ程度 推定

五、遺骨歸還ノ有無 無

六、戰死當時ノ狀況ノ概要  
昭和六年三月二十日、比島三之島(側)向テ攻撃ニ進出シ、三ヶ所ノ岳地ニ於テ、  
仲代ノ金山ノ麓ニ砲臺ヲ設ケ、岳地ニ於テ攻撃シ、同ノ岳地ニ至リ、同山ノ古館ニ  
戰死スル。遺骨ノ歸還ニ付、推定ス。

七、死亡區分 戦死 非由 疾病 年月日 昭和六年三月二十日

八、其ノ他 (傷等) 於テ死シ、或ハ立死シ、或ハ不明等ニ入ル 立死シ、上陸年月日及上陸地

九、生後 所 無

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

死者ノ親柄 母

氏名 [redacted]

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和十二年七月十四日

證明者住所 [redacted]

死者ノ關係 [redacted]

所屬部隊名 同新隊 兵種 官等 陸軍 軍五中隊

氏名 [redacted]

市町村長證明所

[redacted]

印

544

現認證明書

本籍地

所屬部隊 咸一〇六三部隊

一死之年月日時

昭和二十年三月二十日 午時二十分

二死之場所

以島ハナイ島ハコ

一死之区分

戦死

二傷(病)名

一死之當時状況

昭二十、四、西部隊第四部隊入隊。同年一〇、三、三、字西陸出發。同年二、三、  
海南島上陸。同地整備。昭二〇、三、三、海南島出發。同年七、日、ヒリンコ、  
モ、陸。四月三日ヨリ、ハタン夜陸戦。同年九月五日コレトリ島攻  
略戦。五月十日ヨリ、ハタン、同日九日カクツアン到着。同地整備。同年九月  
五日カクツアン出發。同日、サシエルナド着。同地整備。同年九月五日、  
サラ、陸。同年十月七日、ハナイ島イ、上陸。同地整備。昭和二十一年三月九日  
花南同島上陸。戦死。ト、同日、午後五分、イ、ハコ橋梁付近、於テ戦死。又

右現認ス

昭和二十二年二月十日

現認者

階級 曹長 氏名

現住所

元所屬部隊 咸一〇六三部隊



表 登錄

⑤

死亡證明書

遺族	國有表 通科誌	即死一七朕 一六三
發給	夫役 死亡前之遺著 長	予 少砲 兵長 兵
本籍地	[Redacted]	
留身	現在所 本籍地同	
確着者	續發者	父 [Redacted]
死之年月日時	昭和二十年三月二十日	
死之場所	[Redacted] 地方竹敷陣地	
死之原因	戰死	
死之經過	竹敷陣地於平交戰中戰死	
事由	由	
本籍地(町)	[Redacted]	
年月日(死亡之日)	[Redacted]	
遺族(遺著者)	[Redacted]	

本證明書發給

昭和二十年三月廿日

證明者 本籍地 [Redacted]  
 現在所 [Redacted]  
 竹敷陣地於平交戰中戰死  
 官 身 陸軍大尉  
 死亡者 遺著者 遺著者  
 國籍 氏名 [Redacted]

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年二月五日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件ノ左記ノ通り報告ス

追記 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念部隊葬ニ付遺骨ハ米軍陸軍當局焼却ス

所屬部隊	死	七	半	由	予備	兵	長	名	本籍地ト同ジ
	時月日	場所							
感第百二十八部隊	三月二日	パナイ島	(頸首通銃創)		航空				

右現認ス

現位所 所屬部隊 感第百二十八部隊(第四十三教育飛行隊)

認者

官等姓名用 陸軍少将

14 2045

17-12

(17)

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年一月十七日

地方世話部

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追記 本件左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テ公報等處理シアラサルニ付爲念

所屬部隊	比島派遣 威第一〇六八部隊 聖警備隊	死	昭和三十二年三月十一日	場所	パライオン パライオン アルセニオン東 北三井地美	事由	戦死 (手榴弾)	認識	航空兵	官階	伍長	氏名	同	本籍	同	留置者現住所	同
------	--------------------------	---	-------------	----	------------------------------------	----	-------------	----	-----	----	----	----	---	----	---	--------	---

右現認ス

現住所

所屬部隊 比島派遣威第一〇六八部隊  
官等姓名印 陸軍

21.1.25 10/0 付受

18-12

540

235  
16/5

新島

昭和二十一年一月十七日

戦時死亡者現認ニ關スル件報告

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件ノ左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念

右現認ス

北島源道	昭二	死	所屬部隊	死	事由	航空兵	官等級	氏名	本籍地
昭二	三月	死	所屬部隊	死	事由	航空兵	官等級	氏名	本籍地
昭二	三月	死	所屬部隊	死	事由	航空兵	官等級	氏名	本籍地

現住所 比島源道 威第一六八部隊

官等級氏名印 陸軍省

26.1.25 付受

19-12

現認證明書

本籍地

現住所 右同シ

所屬部隊 才四航空軍 獨立才七機団砲隊

官氏名 陸軍陸軍兵長 (死亡前)

死亡場所 ホソク 掛 (マニラ 東北 二十四日)

死亡區分 此

死亡日時 昭和二十一年三月二十日 十三時

死亡傷(病)名 頸部及胸部貫通

留守擔當者住所 現住所 同シ

續柄氏名 又

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所

元所屬官氏名

才四航空軍 獨立才七機団砲隊

陸軍兵長

23-12

海軍

第六十八旅団砲兵隊第一隊第四中隊

(第一〇〇〇部隊)

比島レイテ島ヒリヤバ東方丁西村

昭和三年三月三日 戦死

故陸軍少佐

現住所

留守租与者

文

戦友

陸軍

死亡現認證明書

死	所屬部隊名 官等級氏名 本籍地	南方第一四陸軍病院 陸軍衛生工等兵
亡	死亡区分	戦死
傷病名	比島心子島イロイロ細バビヤ 頭部直衝砲弾創	
遺骨遺留品状況	遺骨ハ現認ニシテ又何物モ存シテ	
現認場所	前進中夾束セラル直衝砲弾ニシテ戦死	
證明年月日	昭和二十一年一月三十日	
現認所屬部隊名	南方第一四陸軍病院イロイロ合隊	
官等級氏名	陸軍衛生部長	
署名	[Redacted Signature]	

此表は、戦死者の遺骨や遺留品が確認された場合、または戦死が確認された場合に発行される。証明書の発行は、戦死者の遺骨や遺留品が確認された場合、または戦死が確認された場合に発行される。

死亡現認證明書

現認者		死亡者				死亡	
現認住所	官署姓名	證明年月日	現認事由	遺體遺留物狀	傷病名	死亡區分	本籍地
	陸軍衛生部	南方 陸軍 衛生部	轉送中 奉命七九 之際 被連上 砲彈 炸死	被連遺留物狀	比島 心 七 島 心	戰死	陸軍 衛生部
			戰中 北 江 滿 之 中 砲 彈 炸 死 可 見				
			轉送中 奉命七九 之際 被連上 砲彈 炸死				
			戰中 北 江 滿 之 中 砲 彈 炸 死 可 見				

本證明書係由三向作... 陸軍衛生部... 戰死... 不慮死公...









新設ラバ部令司送簡旅部三才

送中一才兵歩時臨

四四九二

歩補

13

所部

隊馬

兵設

年

昭和三年二月十五日

死 亡 者 名 氏 所 在 所

長 兵

生日 月 年

本籍地

[Redacted]

留于

父

同上

現住所

死

[Redacted]

同上

年

死

死

20.3.22

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

戰友 長 隊 第一中隊

[Redacted]

死 亡 者 名 氏 所 在 所

2-12

事務長  
田中 昭

# 現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日  
地方世話部長

死者 の状況	死亡時間	昭和 20 年 3 月 22 日 午後 時 分	死亡場所	ルソン後ボソク
	死亡區分	戦死	死亡場所	ルソン後ボソク
著者 の状況	發(受)病(傷)年月日	昭和 年 月 日	准士官以上 任官年月日	
	遺留品	遺骨	遺品	遺骨

昭和 20 年 3 月 22 日  
ルソン後ボソク  
に於て敵ゲリラの急襲に  
戦死

右證明候也

昭和 23 年 5 月 12 日

所屬部隊 海陸基理第八大隊  
現任所  
官等級氏名印

地方世話部長

殿

48-10



現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部長

所屬部隊 海軍陸戦隊第八大隊 編制號 威一三七九五部隊

年集 種 役 初 兵 級等官 前 死亡 後 死亡 氏 名 生年月日

死亡年月日時 昭和 20 年 3 月 22 日 午後 時 分 死亡場所 ルソン島ボソ

死亡區分 戦死 傷病名

發(受)病(傷)年月日 昭和 年 月 日 准士官以上 任官年月日

死亡時 物に於て敵ゲリラの爲に戦死

遺留品の有無

右證明候也

昭和 23 年 5 月 12 日

所屬部隊 海軍陸戦隊第八大隊

現住所

地方世話部長

殿

